

【政治経済学部】 教員免許状取得要件・開講科目時間割

◆教員免許状取得要件

下表で定める最低修得単位以上を履修すること。

法令区分／免許状の種類	中学校教諭 1 種免許状	高等学校教諭 1 種免許状
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	合計8単位	合計8単位
日本国憲法	2	2
体育（実技）	2	2
外国語コミュニケーション	2	2
情報機器の操作	2	2
教科及び教職に関する科目	合計59単位	合計59単位
教科及び教科の指導法に関する科目	小計28単位	小計24単位
教科に関する専門的事項		
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	8	4
教育の基礎的理解に関する科目	10	10
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	8
教育実践に関する科目	7	5
大学が独自に設定する科目	4	12
最低修得単位数の合計	67	67

1. 基礎資格

本学部を卒業し、学士（政治学）、学士（経済学）あるいは学士（国際政治経済学）の学位を有すること。

2. 日本国憲法

本学部設置の「法学A（憲法を含む）」「法学B（憲法を含む）」「憲法」で充当される。

3. 体育（実技）

グローバルエデュケーションセンター設置の「スポーツ実習Ⅰ」、「スポーツ実習Ⅱ」合計2単位以上で充当される。

4. 外国語コミュニケーション

学部在学中に履修した外国語科目のうちの指定科目2単位で充当される。
(科目等履修生としての履修は認めない。)

5. 情報機器の操作

グローバルエデュケーションセンター設置科目で充当される。

6. 教科及び教科の指導法に関する科目

本学部設置科目および一部教育学部設置科目の単位で充当される。

7. 教育の基礎的理解に関する科目

8. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

9. 教育実践に関する科目

教育学部設置の教職課程科目の単位で充当される。

10. 大学が独自に設定する科目

教職課程科目のうち「介護体験実習講義」「教職研究Ⅰ～Ⅸ」など、および「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」等のうち最低修得単位数を超えて修得した単位で充当される。

上記6～10について、詳細は3～9ページを参照のこと。

教育職員免許状取得 履修方法

中学1種「社会」

免許法施行規則に規定された科目		[①必修科目]	単位	履修方法	[②選択科目]	単位	備考
教 科 及 び に 関 連 す る 指 導 的 な 事 項 を 指 す る 科 目	日本史・外国史	日本史概論A	2	必修	日本政治史	4	
		日本史概論B	2	必修	日本政治思想史	4	
					日本経済史	4	
					日本経済思想史	2	
					経済史入門A	2	
					経済史入門B	2	
					日本経済史の諸問題A	2	
					日本経済史の諸問題B	2	
					メディア・コミュニケーション史	4	
					政治行動論	2	
	外国史概論A	2	必修	西洋政治史	4		
	外国史概論B	2	必修	西洋経済史	4		
				アジア経済史	4		
				地域研究（東アジア史）	2		
				地域研究（東アジア政治経済）	2		
				西洋経済史の諸問題A	2		
				西洋経済史の諸問題B	2		
				西洋経済史の諸問題C	2		
				西洋経済史の諸問題D	2		
				アジア経済史の諸問題A	2		
				東洋政治思想史	2		
	地理学 (地誌を含む。)	地理Ⅰ(教育学部)	2	必修	地理Ⅲ(教育学部)	2	
		地理Ⅱ(教育学部)	2	必修			
		地誌Ⅰ(教育学部)	2	必修	地誌Ⅱ(教育学部)	2	
	「法学、政治学」	現代政治分析	4	選択必修	国際政治学	4	
		政治分析入門	4		憲法	4	
		法学A	2	下記注参照	国際法Ⅰ	2	
		法学A(憲法を含む)	2		国際法Ⅱ	2	
		法学B	2		日本政治論入門	2	
	「社会学、経済学」	社会学	2	選択必修	経済学Ⅰ	2	
		ミクロ経済学入門	2	下記注参照	経済学Ⅱ	2	
		マクロ経済学入門	2		国際関係論入門	2	
					国際経済学	2	
					国際社会関係論	2	
					国際貿易論	2	
					国際金融論	2	
					経済政策	2	
					ミクロ経済学A	2	
					ミクロ経済学B	2	
					マクロ経済学A	2	
					マクロ経済学B	2	
					日本経済論入門	2	
				日本経済論	2		
				Microeconomics A	2		
				Microeconomics B	2		
				Macroeconomics A	2		
				Macroeconomics B	2		
	「哲学、倫理学、宗教学」	哲学研究	4	選択必修			
		宗教学研究Ⅰ	2				
		宗教学研究Ⅱ	2	下記注参照			
		倫理学概論	4				
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	社会科教育法1	2	必修		「社会科教育法3」および「社会科教育法4」は、高等学校地理歴史・公民の免許には使用できない。	
		社会科教育法2	2	必修			
		社会科教育法3	2	必修			
		社会科教育法4	2	必修			
注	<p>法学、政治学は、対象科目のいずれか1科目を選択必修する。 社会学、経済学は、次の2通りの履修方法の内、いずれかを選択必修する。 ① ミクロ経済学入門・マクロ経済学入門の2科目を履修する。 ※上記2科目は2008年以降、「選択必修」として有効(選択必修の履修条件として記載)。2003~2007年に修得した場合は「選択科目」として扱われる(選択必修の履修条件としての記載はなく、選択科目として記載している)ため、2003~2007年に該当科目を修得した場合は注意すること。例えば、本学正規生として在学中の2007年に「ミクロ経済学入門」を修得し、2016年に科目等履修生として「マクロ経済学入門」を修得したとしても、履修年度の選択必修の条件に則り、2007年に修得した「ミクロ経済学入門」は「選択科目」として扱われるため、選択必修条件の一つである『ミクロ経済学入門・マクロ経済学入門の2科目を履修する』を満たしたことにならず、「ミクロ経済学入門」も新たに修得する必要がある。 ② 社会学を履修する。 哲学、倫理学、宗教学は、次の3通りの履修方法の内、いずれかを選択必修する。 ① 哲学研究を履修する。 ② 宗教学研究Ⅰ・宗教学研究Ⅱの2科目を履修する。 ③ 倫理学概論を履修する。</p>						

[必修科目] ① 及び [選択科目] ② 合計で28単位以上履修する。

中学1種「社会」（つづき）

免許法施行規則に規定された科目	〔③必修科目〕	単位	履修方法	〔④選択科目〕	単位	履修方法	備考		
教育の基礎的理解に関する科目	教育基礎総論1（中・高）	2	全科目必修	教職研究Ⅰ	2	選択	修得した〔④選択科目〕は「大学が独自に設定する科目」として取り扱われる。 ※1）旧「教育基礎総論2（中・高）」を修得済みの場合、再度の履修は不要。 ※2）2019年度より、単位数が変更となった。旧科目「特別活動論（中・高）」（2単位）を修得済みの場合、再度の履修は不要。 ※3）旧「教育方法研究（中・高）」を修得済みの場合、再度の履修は不要。		
	教職概論（中・高）	2		教職研究Ⅱ	2				
	教育制度総論（中・高）※1	2		教職研究Ⅲ	2				
	教育心理学（中・高）	2		教職研究Ⅳ	2				
	特別支援教育（中・高）	1		教職研究Ⅴ	2				
	教育課程編成論（中・高）	1		教職研究Ⅸ	2				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育論（中・高）	2		全科目必修	授業技術演習			2	選択
	総合的な学習・探究論（中・高）	1							
	特別活動論（中・高）※2	1							
	教育方法・技術論（中・高）※3	2							
	生徒指導・進路指導論（中・高）	2							
生徒理解と教育相談（中・高）	2								
教育実践に関する科目	教育実習演習（中・高）（3週間）	5	全科目必修			選択			
	教職実践演習（中・高）	2							
〔③必修科目〕 合計単位数 27単位									

免許法施行規則に規定された科目	〔⑤必修科目〕	単位	履修方法	〔⑥選択科目〕	単位	履修方法	備考
大学が独自に設定する科目	介護体験実習講義	2	必修	人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論と実践）	2	選択	「教科又は教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」等の最低修得単位数を超えて修得した単位も併せて4単位以上を修得
				教職研究Ⅵ	2		
				教職研究Ⅷ	2		
				初等教育インターンシップ	4		
				学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	4		
				特別支援教育インターンシップ	4		
				インクルーシブ教育インターンシップ	4		
				インクルーシブ教育インターンシップ	4		
〔⑤必修科目〕 合計単位数 2単位							

〔必修科目〕①・③・⑤及び〔選択科目〕②・④・⑥ 合計で59単位以上履修する。

高校1種「地理歴史」

免許法施行規則に規定された科目		[①必修科目]	単 位	履修方法	[②選択科目]	単 位	備 考
教 科 及 び 関 連 の 専 門 的 指 導 的 事 項 に 関 す る 科 目	日 本 史	日本史概論A	2	必修	日本政治史	4	
		日本史概論B	2	必修	日本政治思想史	4	
	外 国 史	外国史概論A	2	必修	日本経済史	4	
		外国史概論B	2	必修	日本経済思想史	2	
		経済史入門A	2		経済史入門B	2	
		日本経済史の諸問題A	2		日本経済史の諸問題B	2	
		日本経済史の諸問題B	2		メディア・コミュニケーション史	4	
		政治行動論	2			2	
		西洋政治史	4		西洋経済史	4	
		西洋経済史	4		アジア経済史	4	
東洋政治思想史	2		東洋政治思想史	2			
地域研究（東アジア史）	2		地域研究（東アジア政治経済）	2			
地域研究（東アジア政治経済）	2		西洋経済史の諸問題A	2			
西洋経済史の諸問題A	2		西洋経済史の諸問題B	2			
西洋経済史の諸問題B	2		西洋経済史の諸問題C	2			
西洋経済史の諸問題C	2		西洋経済史の諸問題D	2			
西洋経済史の諸問題D	2		アジア経済史の諸問題A	2			
アジア経済史の諸問題A	2						
人文地理学・自然地理学	地理Ⅰ（教育学部）	2	必修				
	地理Ⅱ（教育学部）	2	必修				
	地理Ⅲ（教育学部）	2	必修				
地 誌	地誌Ⅰ（教育学部）	2	必修				
	地誌Ⅱ（教育学部）	2	必修				
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目							
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		地理歴史科教育法1	2	必修			「社会科教育法3」および「社会科教育法4」は、高等学校地理歴史・公民の免許には使用できない。
		地理歴史科教育法2	2	必修			

[必修科目] ① 及び [選択科目] ② 合計で24単位以上履修する。

高校1種「地理歴史」(つづき)

免許法施行規則に規定された科目	〔③必修科目〕	単 位	履 修 方 法	〔④選択科目〕	単 位	履 修 方 法	備 考
教育の基礎的理解に関する科目	教育基礎総論1(中・高)	2	全 科 目 必 修	教職研究Ⅰ	2	選 択	修得した〔④選択科目〕は「大学が独自に設定する科目」として取り扱われる。 ※1) 旧「教育基礎総論2(中・高)」を修得済みの場合、再度の履修は不要。 ※2) 2019年度より、単位数が変更となった。旧科目「特別活動論(中・高)」(2単位)を修得済みの場合、再度の履修は不要。 ※3) 旧「教育方法研究(中・高)」を修得済みの場合、再度の履修は不要。
	教職概論(中・高)	2		教職研究Ⅱ	2		
	教育制度総論(中・高)※1	2		教職研究Ⅲ	2		
	教育心理学(中・高)	2		教職研究Ⅳ	2		
	特別支援教育(中・高)	1		教職研究Ⅴ	2		
	教育課程編成論(中・高)	1		教職研究Ⅸ	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習・探究論(中・高)	1		道徳教育論(中・高)	2		
	特別活動論(中・高)※2	1		授業技術演習	2		
	教育方法・技術論(中・高)※3	2					
	生徒指導・進路指導論(中・高)	2					
	生徒理解と教育相談(中・高)	2					
教育実践に関する科目	教育実習演習(2週間)	3					
	教職実践演習(中・高)	2					
〔③必修科目〕合計単位数 23単位							

免許法施行規則に規定された科目	〔⑤必修科目〕	単 位	履 修 方 法	〔⑥選 択 科 目〕	単 位	履 修 方 法
大学が独自に設定する科目	/			介護体験実習講義	2	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得
				人間理解基盤講座(心の健康教育に関する理論と実践)	2	
				教職研究Ⅵ	2	
				教職研究Ⅷ	2	
				初等教育インターンシップ	4	
				学級経営インターンシップ(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	4	
				特別支援教育インターンシップ	4	
				インクルーシブ教育インターンシップ	4	

〔必修科目〕①・③・⑤及び〔選択科目〕②・④・⑥合計で59単位以上履修する。

高校1種「公民」

免許法施行規則に規定された科目		[①必修科目]	単位	履修方法	[②選択科目]	単位	備考
教科 科 及 び 開 教 す る の 指 導 的 法 事 に 関 す る 科 目	「法律学 (国際法を含む。) 政治学 (国際政治を含む。)」	現代政治分析	4	選択必修	国際政治学	4	
		政治分析入門	4	下記注 参照	憲法	4	
		法学A	2		国際法Ⅰ	2	
		法学A(憲法を含む)	2		国際法Ⅱ	2	
		法学B	2		日本政治論入門	2	
	法学B(憲法を含む)	2					
	「社会学、経済学 (国際経済を含む。)」	社会学	2	選択必修	経済学史Ⅰ	2	
		ミクロ経済学入門	2	下記注 参照	経済学史Ⅱ	2	
		マクロ経済学入門	2		国際関係論入門	2	
					国際経済学	2	
			国際社会関係論		2		
			国際貿易論		2		
			国際金融論		2		
			経済政策		2		
			ミクロ経済学A		2		
			ミクロ経済学B		2		
			マクロ経済学A		2		
			マクロ経済学B		2		
			日本経済論入門		2		
		日本経済論	2				
		Microeconomics A	2				
		Microeconomics B	2				
		Macroeconomics A	2				
		Macroeconomics B	2				
教科及び教科の指導法 に関する科目における複 数の事項を合わせた内容 に係る科目	「哲学、倫理学、 宗教学、心理学」	哲学研究	4	選択必修			
		宗教研究Ⅰ	2	下記注 参照			
		宗教研究Ⅱ	2				
倫理学概論	4						
各教科の指導法(情報機 器及び教材の活用を含 む。)		公民科教育法1	2	必修			「社会科教育法3」および「社会科 教育法4」は、高等学校地理歴史・ 公民の免許には使用できない。
		公民科教育法2	2	必修			

注 法学、政治学は、対象科目のいずれか1科目を選択必修する。
社会学、経済学は、次の2通りの履修方法の内、いずれかを選択必修する。
① ミクロ経済学入門・マクロ経済学入門の2科目を履修する。
※上記2科目は2008年以降、「選択必修」として有効(選択必修の履修条件として記載)。2003～2007年に修得した場合は「選択科目」として扱われる(選択必修の履修条件としての記載はなく、選択科目として記載している)ため、2003～2007年に該当科目を修得した場合は注意すること。
例えば、本学正規生として在学中の2007年に「ミクロ経済学入門」を修得し、2016年に科目等履修生として「マクロ経済学入門」を修得したとしても、履修年度の選択必修の条件に則り、2007年に修得した「ミクロ経済学入門」は「選択科目」として扱われるため、選択必修条件の一つである『ミクロ経済学入門・マクロ経済学入門の2科目を履修する』を満たしたことはならず、「ミクロ経済学入門」も新たに修得する必要がある。
② 社会学を履修する。
哲学、倫理学、宗教学は、次の3通りの履修方法の内、いずれかを選択必修する。
① 哲学研究を履修する。
② 宗教研究Ⅰ・宗教研究Ⅱの2科目を履修する。
③ 倫理学概論を履修する。

[必修科目] ① 及び [選択科目] ② 合計で24単位以上履修する。

高校1種「公民」(つづき)

免許法施行規則に	[③必修科目]	単位	履修方法	[④選択科目]	単位	履修方法	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育基礎総論1(中・高)	2	全科目必修	教職研究Ⅰ	2	選択	修得した[④選択科目]は「大学が独自に設定する科目」として取り扱われる。 ※1)旧「教育基礎総論2(中・高)」を修得済みの場合、再度の履修は不要。 ※2)2019年度より、単位数が変更となった。旧科目「特別活動論(中・高)」(2単位)を修得済みの場合、再度の履修は不要。 ※3)旧「教育方法研究(中・高)」を修得済みの場合、再度の履修は不要。
	教職概論(中・高)	2		教職研究Ⅱ	2		
	教育制度総論(中・高)※1	2		教職研究Ⅲ	2		
	教育心理学(中・高)	2		教職研究Ⅳ	2		
	特別支援教育(中・高)	1		教職研究Ⅴ	2		
	教育課程編成論(中・高)	1		教職研究Ⅸ	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習・探究論(中・高)	1		道徳教育論(中・高)	2		
	特別活動論(中・高)※2	1		授業技術演習	2		
	教育方法・技術論(中・高)※3	2					
	生徒指導・進路指導論(中・高)	2					
	生徒理解と教育相談(中・高)	2					
教育実践に関する科目	教育実習演習(2週間)	3					
	教職実践演習(中・高)	2					
[③必修科目] 合計単位数 23単位							

免許法施行規則に規定された科目	[⑤必修科目]	単位	履修方法	[⑥選択科目]	単位	履修方法
大学が独自に設定する科目	/			介護体験実習講義	2	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得
				人間理解基盤講座(心の健康教育に関する理論と実践)	2	
				教職研究Ⅵ	2	
				教職研究Ⅷ	2	
				初等教育インターンシップ	4	
				学級経営インターンシップ(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	4	
				特別支援教育インターンシップ	4	
				インクルーシブ教育インターンシップ	4	

[必修科目] ①・③・⑤及び[選択科目] ②・④・⑥ 合計で59単位以上履修する。

◆開講科目時間割

※時間割については、今後変更になる可能性があります。以下の情報も随時更新しますので、出願の際には最新情報をご確認ください。

1. 政治経済学部設置科目（日本国憲法、教科に関する専門的事項）
別紙「【政治経済学部】開講科目時間割(科目等履修生用)教職課程」を参照してください。
2. 教育学部教職課程設置科目（教科及び教科の指導法に関する科目、「教育の基礎的理解に関する科目」等）
教育学部ホームページの以下のファイルを参照してください。
「開講科目時間割① 教科に関する専門的事項（中・高）」
※政治経済学部生が履修できる教科に関する専門的事項の科目は、地理I, II, III、地誌I, IIIに限ります。
「開講科目時間割② 教育の基礎的理解に関する科目等（中・高）」
「開講科目時間割③ 各教科の指導法（中・高）」
「開講科目時間割④ 大学が独自に設定する科目（中・高）」
3. 体育（実技）
教育学部ホームページの「開講科目時間割⑥ 体育・情報機器の操作」を参照してください。
4. 情報機器の操作
教育学部ホームページの「開講科目時間割⑥ 体育・情報機器の操作」を参照してください。

★教育学部ホームページ HOME > 受験生の方へ > 入学試験情報
> 科目等履修生（中学・高校1種免許）
<http://www.waseda.jp/fedu/edu/applicants/admission/>